

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり78kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5.1トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり182kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり467kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり78kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり91kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり225kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ブリが1日1統当たり12kgの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、アマダイが1日1統当たり31kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/24～2/27）の沖合イカ釣は、船凍船は切揚。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 3日34隻入港、総計1,911箱。1航海最高234箱、平均56.2箱、スルメ（20・25・30入）1,911箱。

（漁業情報サービスセンターより）